

古い扇風機の手扱いについて

これから夏を迎えるにあたり扇風機を使用する機会が増える季節になります。

それに伴い火災事故も全国的に発生しており、近年、扇風機を20年、30年と長年期間使用した古い扇風機から火災が発生することがあります。

代表的な事故原因としては、長期使用によるコンデンサーの絶縁劣化したため、ショートして発火したり、経年劣化によってモーター巻線部が絶縁劣化したため、スパークが生じて周囲ホコリ等に着火し、火災に至るものです。

製造から長期間経過した扇風機は、経年劣化によって火災等の事故につながる恐れがあります。

事故防止対策として

- (1) スイッチを入れてもファンが回らない。
- (2) ファンが回っても、回転が異常に遅かったり不規則である。
- (3) ファンが回転するとき異常な音や振動がする。
- (4) モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- (5) 電源コードが折れ曲がり破損したりしている。
- (6) 電源コードに触れると、ファンが回ったり、回らなかったりと不安定である。

上記の内容に1つでも該当する場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて適切に廃棄してください。

吉川松伏消防組合消防本部予防課

TEL 048-982-3919